

おごせ 教育 Pick Up



越生小学校

12月9日、持久走大会が開かれました。たくさんの保護者の応援の中、1年生から6年生まで全力を出して走りました。順位に関係なく、最後まで走りきる子どもたちの姿に感動。子どもたちや保護者のたくさんの応援が響き合う、良い大会となりました。

梅園小学校

11月25日210人を超える参加者のもと、収穫祭を行いました。子ども達で作った梅干しを入れたおにぎり、日赤奉仕団のみなさんに作っていただいた豚汁、学校で子ども達が栽培したサツマイモをおいしく食べました。子ども達も自然や人に感謝の気持ちを持って参加することができました。



越生中学校

12月8日、校内ロードレース大会が行われました。練習から熱心に取り組み、自分自身を追い込んで誰もが本気で走りました。いい結果を出そうと、ゴールでは倒れ込む生徒もいるほど。走者と応援する生徒がひとつになった、日本一のロードレース大会になりました。



おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子どもたちを写真で紹介するコーナーです。

美術部全国大会12年連続出場が決定
昨年11月の埼玉県高校美術展で、本校美術部生徒の作品が優秀賞を受賞し、今年、長野県で開催される全国高等学校総合文化祭出場が決定しま



本校は昭和47年に町内唯一の県立高校として開校し、今年で創立47年目を迎えます。普通科・美術科の二学科を併設し、全14クラスの小規模校ですが、生徒、教員、保護者、そして地域との関係が密接で、「アットホーム」な校風が特徴です。

ズームイン教育247
**グローバル
(Global+Local)
な活躍**

県立越生高等学校



した。全国大会は12連続出場となりました。
「ゆずの里ケーブルテレビ」美術科Artコーナー放送中
昨年7月から、越生町・毛呂山町のテレビ局である「ゆずの里ケーブルテレビ」で越生高校美術科を紹介する「越生高校美術科Artコーナー」の放送が始まりました。
本校美術科の紹介だけでなく、番組中で使われる越生町のPRアニメーションを制作し、毎月の更新も行っています。放送時間は、3日曜日から7日間、朝、昼、夕、夜の1日4回です。今月(1月)は「卒業制作展の準備の様子」が放送予定ですので、ぜひご覧ください。

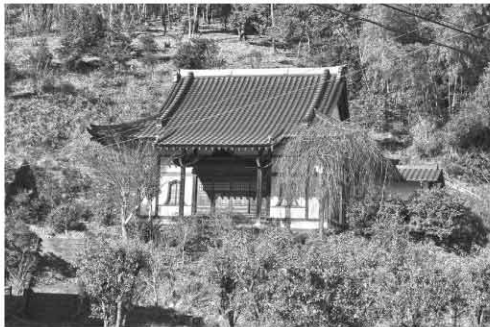
越生浪漫

No.108

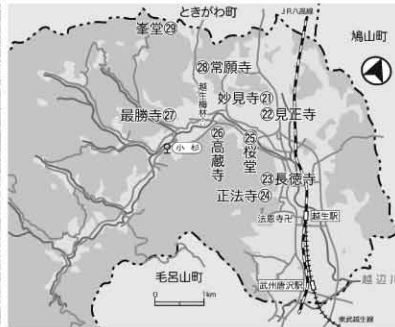
入比坂東三十三ヶ所
観音札所

僧侶や修験者の修行だった霊場・札所巡りは、江戸時代になると、現世利益を求める庶民の間にも広まりました。四国八十八ヶ所、西国・坂東・秩父百観音巡礼が流行し、各地に「写し霊場」や、これらに倣った巡礼コースが創られました◆「入比坂東三十三ヶ所観音札所」は、享保年間(1716〜35)の開創で(『都幾川村史』)、平村(当時)の慈光寺女人堂で発願し、平村の正法寺で結願する、入間・比企両郡にまたがる全行程二十里(80km)の霊場です◆越生町の9札所のうち、妙見寺は弘法山観世音のこと、長徳寺は五大尊にあつた臨濟宗寺院です。桜堂は旧道沿いに現存、常願寺は跡地が残るのみ、峯堂には小堂が立っています

◆御朱印ブームもあってか、埋もれた霊場の発掘が盛んで、「入比観音札所」も様々なホームページで紹介されています。ときがわ町観光協会の先導による「幻の札所めぐり」復活の試みも始まり、5回にわたる体験ツアーが行われています。来月24日(土)には、越生の札所を巡ります。⑤



二十六番 高蔵寺(越生町大字津久根)



越生町にある入比坂東観音札所

山号	寺院名	所在地
1	都幾山 女人堂	ときがわ町西平
2	瑞松山 小幡堂	西平
3	瑞松山 小幡堂	西平
4	弘法山 弘法堂	馬場
5	長慶山 長慶堂	田中
6	都波山 都波堂	本郷
7	鈴宮山 観音寺	本郷
8	真光寺 真光堂	日影
9	龍眼山 龍眼堂	五明
10	大慈山 龍法寺	玉川
11	玉壺山 龍眼寺	玉川
12	玉壺山 龍眼寺	玉川
13	植木山 花見堂	玉川
14	植木山 花見堂	玉川
15	水月山 龍藏寺	ときがわ町玉川
16	医王山 東光寺	鳩山町竹本
17	宝珠山 宝泉寺	泉井
18	泉井山 金沢寺	泉井
19	赤沼山 密藏院	赤沼
20	榎木山 福寿寺	小用
21	弘法山 妙見寺	越生町成瀬
22	能満山 見正寺	成瀬
23	岩谷山 長徳寺	黒岩
24	大慈山 正法寺	越生
25	大慈山 正法寺	津久根
26	如意山 桜堂	津久根
27	青龍山 最勝寺	堂山
28	慈観山 常願寺	上谷
29	慈観山 常願寺	上谷
30	岩上山 普門寺	ときがわ町西平
31	多武峯 慈眼坊	西平
32	多武峯 大宮堂	西平
33	岩殿山 正法寺	西平

入比坂東三十三ヶ所観音札所一覧

ラミーカミキリは、鮮やかな青緑色に黒色の紋を持つ大変美しいカミキリムシです。体長は10〜15ミリの小型種で、体の模様はジャイアントパンダのようです。寄主植物は、ラミー(苧麻)・カラムシ・ヤブマオなど、イラクサ科の草本とシナノキ・ムクゲなどの木本の植物です。繊維業界では、カラムシなどの植物から作られた繊維全般をラミーと呼んでいます◆卵は寄主植物の葉や茎に産卵され、幼虫は根に潜り込んで越冬します(根穿孔害虫)。成虫の出現期は5〜7月、ゲンジボタルが多い6月が最盛期です。越生町では、道端に生育するカラムシの葉上でよく見られ、人が近づくと軽快に飛び、再び近くの葉上に止まります。成

おごせ 昆虫と自然の館 通信 No.69

ホタルの季節に観察される
ラミーカミキリ
「コウチュウ目カミキリムシ科」



カラムシの葉上のラミーカミキリ

虫はカラムシの葉柄、葉脈部を食べ、食べられた跡は黒く変色するので容易に確認できます◆原産地は中国です。江戸時代後期に長崎に侵入し、その後中国から長崎や鹿児島に輸入されたラミーの根から幼虫が見つかっています。関東地方では1966年(昭和41年)に千葉県原市のカラムシから発見されました。県内では1997年(昭和62年)所沢市北秋津で最初の記録があり、近年は各地で普通に見られます◆ホタルの飛び交う季節に、道端のカラムシやムクゲの葉の上を観察すると、きつと青緑色のラミーカミキリを見ることが出来ます。(阿部 功)